

令和4年5月27日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 森田 洋一 様

議会報告会 1班(総務委員会)

班長 海老原 功一

西尾 段

野村 誠

坂巻 儀一

植田 和子

加藤 啓子

森 亮二

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、ご報告します。

記

- 1 日時 令和4年5月15日(日)午前9時30分～午前11時30分
- 2 場所 文化会館 講義室
- 3 欠席議員 1名(海老原功一議員)
- 4 来場者数
市民来場者7人、議員・職員1人(合計8人)
- 5 報告内容
 - ① 令和4年度予算審査について(指摘要望事項など)
 - ② 地域課題について(運動公園再整備計画)

6 意見交換内容 ※①②その他合わせて記載

市民 A

初石駅の整備に関して東武鉄道株式会社も財政的負担するべきでは。

議員

東武鉄道も資金拠出をする見通し。柔軟になってきている。柏市も負担をする見通し。

市民 A

南柏駅に関しても整備の必要があると思うが、鉄道会社(JR)のスタンスはどうか。

議員

今は名都借跨線橋が最優先になっている。また周辺地域への工事の影響を最小限にするために夜間工事などで対応している。そのため工事が長引いている。工事手法を工夫して工事を進めている。

市民 A

工事に関する安全管理に関する予算は。

議員

JRが跨線橋を全て実施することになった。駅については未定。

議員

運河駅の橋上化では約19億円を市が負担したが、東武鉄道の負担6千万円だった。

市民 A

議員が根拠の調査が弱いのでは。東武に対して毅然とすべきと考える。政務活動を活用して、市の負担を減らすような調査をすべきと思う。

議員

交渉は正副市長が担当しており、議会では分からないことがある。(議会としても)毅然とした態度で臨むよう求める。

市民 B

指摘要望した内容の予算・成果・費用対効果が分かるようにして欲しい。二元代表制の議会としてチェックすべき。

議員

決算委員会の冒頭、副市長か指摘要望事項への対応について、報告(説明)が行われているまた委員会審査を通じて費用対効果を確認してい

る。議会には多様性がある。そのため合意するには抽象的な文書（表現）になりやすい。

市民 C

運動公園再整備に関する入札の動きはどうなっているか。

議員

現在はサウンディング調査中であり、公募予定としては令和4年9月頃になる見通しである。

市民

柏市から参加した。このような会を開き続けることが大事だと思う。市民の方を向いている姿勢が素晴らしいし、今後も続けて欲しいと思います。

市民

地域公共交通活性化事業・利便性の向上に向けた具体案はどのようなになっているか。

議員

- ・公共交通を充実していくには採算性が重要な視点となっている。
- ・公共交通活性化協議会では、デマンド・シェアサイクル(自転車)などを検討している。
- ・免許返納者も増えている。すべて行政でカバーすることは難しいことから、民間の活力も上手に使っていききたい。

7 参加者から議会への要望

8 所感

野村 誠

今回の議会報告会については、一言で非常に残念でした。議員がテーマを発表中に妨害するような発言をしたり、最初から批判ありきでテーマと関係のない質問をしたり、何度も同じ人が質問することによって、議員の話しを純粹に聞きたいと思って参加していただいている他の市民の方が話しづらい雰囲気になってしまったことが反省する点です。

アンケートでも参加した市民から「うるさいので注意してほしい」と指摘がありました。事前に注意事項をまず説明した上で始めれば良かったかと思いました。議会報告会のありかたを根本的に見直す必要があると思います。

西尾 段

今回のテーマは二つで令和4年度予算と地域課題として総合運動公園の再整備の話を紹介した。発表の最中に大きな声で批判的なことだけを言い続ける市民がいて、議員が指摘する前に参加している市民が指摘する場面があった。

報告している最中に大きな声を出す事は他の参加者に対する配慮に欠けていると考える事から、市民に指摘される前に議員の方で注意して進行していくべきだったと反省している。次回以降の開催の時に注意して取り組んでいきたい。

加藤 啓子

議会報告会は市民の方々との大事な意見交換の場であります。議員を含めて市民の方々の考え方は様々で下手をすれば180度違う意見もあります。それをお互い歩み寄り、落とし所を決めて折り合いをつけていくのが大切であります。自分の意見だけが正しいと相手を攻撃する方も少なくありません。私は政治や議員に無関心な方より、批難されても来てくださり意見をいただける方には感謝を申し上げたいと思うようにしたいと思いません。

これからは前にやったが、一度でやめてしまったライブ配信やワークショップなども取り入れて幅広い意見が交換できる場になるように研鑽したいと思えます。

坂巻 儀一

市民への情報発信、市民との意見交換の場としての議会報告会を総務委員会として中央公民会にて開催いたしました。付託される議案が多岐に渡る当委員会ですがピックアップされたテーマに沿った分かりやすい説明でした。しかしながら、一部の参加者からは自分達の意向にそぐわないと苦情ともいえる発言があったことは残念でなりません。

他の参加者へ不快感を与え参加する事へのモチベーションさえも損なわせてしまうような一部参加者の発言を今回担当した司会としてもっと毅然とした対応で報告会を進めるべきだったのかと反省させられました。

植田 和子

今回の議会報告会をもって今期は終わり、ということになっていた流山市議会主催の議会報告会。最後の最後で大変残念な形となりました。議員の説明をヤジるだけではなく大声を出して途中で止めさせたり、人の話を聞かない、という市民の方がいて、本来は市民の意見は真摯に聞く必要がありますが、さすがに議員を攻撃するために参加されたとは思えない数々の言動に残念としか言いようがありません。参加されていた他の市民の方にまで大変嫌な思いをさせたしまった議会報告会でした。次期の議会報告会のあり方については改革が必要だと思います。

森 亮二

今期最後の議会報告であったが、運営方法を工夫した上で継続的に続けていく必要がある。ただし多様な方が参加し、意見を述べやすい雰囲気づくりを行うなど、議会側でも建設的な意見が求められる。併せて参加者側の一定のマナーやルール順守も積極的に呼びかけたい。

他の班ではワークショップ形式を取り入れ、対話型の報告会を実施したことは素晴らしい取り組みと考える。その成果などを検証し、市民にとってまた我々議会にとっても有益な方法は、どんどん取り入れる姿勢を大切にしていきたいと考える。ご参加いただいた市民の皆さまに感謝を申し上げます。